



羊たちのつづき

平成29年 春号

発行：経済同志会シーブクラブ

慶祝例会に寄せて

2017年1月25日(水)
於アイトウ 42名参加



喜寿 松尾英機会員
古希 岩崎憲行、吉田勝美
還暦 平岩義明、森田好亮
厄入 濱村俊介、筒井琢磨
須川憲司、中尾李沙



松尾英機

シーブクラブに入会して早や37年目、たくさんの友が出来、たくさんの相談相手が出来ました。お陰様でこの年まで楽しいシーブライフを過ごしております。そしてまた、還暦・古希・喜寿のたびに、皆様の祝福のもと、本日のように白岳神社の神前で祈願をし、元気で楽しい年祝



岩崎憲行

いをも迎えることができました。本当にありがとうございます。シーブ36年の歴史を振り返った時に、創立10周年にクラブ最大の分裂の危機がありました。友情と修練の経済同志会シーブクラブの「継続派」と事業を中心にやってゆく「協同組合派」に分裂。前者の会長が私、後者の会長が野田初代会長に分かれてスタートしました。結果的には経済同志会シーブクラブだけが存続。協同組合の方からも、大半の会員が戻ってきて、現在のクラブが確立したのです。

以前より頭と口は悪かった。加えて『い』と『ぢ』まで悪くなり(各漢字を一字ずつ当てはめて下さい)、さらに、膝関節部の軟骨のすべり方がおかしいのかコキ、コキと音までする。これは体中より歳を取ったと演奏しているのかな、聞く方が不愉快さを感じる。



須川憲司

※右の漢字は、胃と痔ではなく、意地が正解

初老また厄入りのお祝いを盛大に行っていた皆さまに誠にありがとうございます。お寺という役柄上、神社の神主様に祈禱いただく機会が少なくシーブのおかげですばらしい経験をさせていただきました。「初老」は人生3万日のうちの約半分を過ぎる折り返し地点ともいわれています。つまり私はこの初老をもって人生の半分を終えたこととなります。自分がいまままで積み重ねて

きたもの、また今後私がやるべきこと、今一度原点に立ち返り精進していきたいと思えます。

シーブクラブにおいて経営者としての勉強、また経験を積み上げていただいております。収益を上げること順風満帆な経営をすることに捉われ「お客様(檀家様)ファースト」であることを忘れぬようがんばりたいと思います。

後日行った中尾さんの慶祝番外後



※3名以外の方のメッセージは次号以降に掲載します。原稿を事務局へお願いします。



来期構想を検討する時期 となっております



会長 山領進

光陰矢の如しと言いますが、あっという間に時は流れ、もう次年度に向け組織の見直しの時期になってまいりました。今期はベテランの会員さんに委員長をお願いしたこともあり、各委員会活動においては円滑に回ってきていると思えます。

しかしながら、シーブクラブ全体としての盛り上がりには、何か不足している感じが否めません。これは私自身の会長としてのリーダーシップと企画力不足に起因していることと思えます。また「温故創新」を活動スローガンとして掲げ、一つの試みとしてご提案した「マスターズ倶楽部」は、このままでは機能させることができないまま終わってしまう。この点についても、来期構想の中でどう対処していくのか、先輩会員さんと今一度協議してまいります。そのようなわけで、4月に入りましたら会員の皆様に「来期の活動についての要望、あるいは提案」というアンケートを取らせて頂きたいと存じます。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。



2月18日(19日)日
於くじやく荘 23名参加

LD道場を開催

ヒューマングループ内海代表の講演



グループセッションのひとコマ



※内海社長講演の動画を配信中
左記のHPでご覧下さい。



http://sheepclub.ingsasebo.com
ID: sheep
パスワード: 9405

ローカル路線バスの旅



中村親一郎

★烏帽子岳線（佐世保市営バス）

烏帽子岳（標高568m）は遠足キャンプなどで佐世保市民には馴染みの山ですが路線バスで行ったことがある人は案外少ないかもしれません。



バスでのルートは佐世保駅前より市の中心部を通り松浦町、花園町を経由します。山手町に入ると折橋・俵町へのバスルートと別れすぐに住宅地の中にある烏帽子岳線専用の「山手町」バス停に着きます。バスは住宅地の中を進んで行きますが次の「下山手」バス停を過ぎると住宅は次第に減っていきます。「上山手」バス停付近まで行くと家は殆ど姿を消し山間部を行く閑散とした路線へと様変わりします。ここからはカーブが連続する険しい狭い道をバスは進んで行きます。

桜木町からの道と合流しやがて、「スポーツの里」の施設が見えてきます。このあとバスは「青少年の天地」「キャンプ場入口」と山頂付近に広がる広大な『えぼし高原リゾート』の施設の最寄のバス停を経由して行きます。終点である「烏帽子岳」バス停は烏帽子岳山頂下に広がる「風と星の広場」の中にあります。バスはかつては「スポーツの里」バス停から分かれる下宇戸町までの

支線も運行されていたが廃止されており、

現在は平日は1日3・5本、休日は1日3本のみ運行されています。乗車してみると施設利用や観光、登山などで利用する人は少なく沿線に住む人の生活路線の色合いが濃い路線になっているようです。

佐世保市は坂の街であり多くの住宅地が山を切り開いて開発されています。路線バスがそれらの住宅地と中心街を結んでいます。烏帽子岳線もそうした路線の一つに入るといえます。特にこの線は中心街、住宅地、山：と佐世保の様々な顔を車窓から楽しめます。

また途中「下山手」バス停付近では住宅密集地の狭い道を、「田代峠下」バス停付近では軽自動車でも運転をためらうような山間部の狭い道をバスは進んで行くなどバス旅自体の魅力も堪能できます。



日祝日ダイヤで佐世保駅前8時25分発の始発バスに乗り終点で降りると折り返してバスが出発するまで約20分の時間があります。山頂まで行くことはできませんが緑の絨毯に覆われ展望台もある広場を散策することができます。佐世保駅から片道約30分の行程になります。一日乗車券を購入すれば500円のワンコインでバスの小旅行を楽しむことができます。

★波佐見ー有田の乗合タクシー

2016年9月より試験運行ですが佐賀県有田町と長崎県波佐見町との間で乗合タクシーが運行されています。

ます。タクシーは9人乗りのジャンボタクシーで両町の運行して午前10時より午後5時まで1時間おきに8便、約18キロをおよそ45分で結んでいます。



現在、「有田のやきものまつり」のイベントが開催されている有田町の玄関口・有田駅が乗合タクシーの出発地です。

10時10分発の始発便に乗りしてみました。貸切状態でスタートです。有田駅前を出発するとまず有田の郊外にある『有田陶器の里プラザ』に向かいます。

ここには有田焼のお店が20以上入っているショッピングモールとあります。私は初めて来ました。有田の中心部に戻り陶器市でおなじみの有田の街を走ります。日曜の朝ということもあってか街は静かです。有田陶磁美術館の前にある『有田商工会議所前』に着きます。場所がわかりにくいのがちよつと難点ですが街の中にありギョウキのカラークリ人形劇が上演される「有田館」も近くになります。

この後、波佐見町に入ります。『波佐見有田インター』の停留所は高速バスのバス停のすぐ近くにあり乗り換えも便利です。有名なマルヒ



ロヤポートピアも近くになります。次に『陶芸の館』に向かいます。ここは波佐見の中心部にあります。波佐見焼のショッピングや陶芸体験、波佐見焼の歴史も学ぶことが出来ます。「やきもの公園」のすぐ近くですし最近、人気がある西の原地区にも歩いて行けます。

路線バスの「やきもの公園前」の停留所もすぐ近くで三川内や佐世保中心部、嬉野、川棚へと乗り換えることも出来ます。

最後にタクシーは市街地を抜け静かな山間の道を進んで行きます。中尾山の入り口にある門を過ぎると勾配は徐々にきつくなっていき道沿いの住宅地の中に時折、窯元も見ることが出来ます。棚田で有名な鬼木への道と別れると終点の『中尾山交流館』はすぐです。



ここには中尾山の窯元の作品が展示・販売されています。私が行った時も5、6人の観光客が熱心に作品をみたり職員の方と焼物の話しを楽しそうにされていました。「中尾山伝習館」や「文化の陶四季舎」が隣接しており絵付け体験や食事も楽しめます。宿泊も可能です。

料金は乗り放題の一日乗車券1,000円（子供500円）のみとなっています。

中尾山の入り口にも停留所があったら坂道を引き返さなくて良いので楽で便利だと思いますし、短時間で楽しむ人のため往復券などもあって良いと思います。またポーセリングパークや泉山、歴史と文化の森へと土日祝日にコミュニティバスが有田町内で運行されていますがもつと連

携があってもいいのではないかな？いろいろな思ったりもしますが陶磁器が好きで自家用車を使わずに有田や波佐見をじっくりと回りたい方は佐世保など近辺の人でも上手に使えばお得な一日乗車券になると思います。どこかの停留所で降りても十分に楽しむことが出来ます。

波佐見町、有田町共に西肥バスの運行エリアでかつては多くの路線バスが運行されていましたが一部の幹線を除くと多くの路線が廃止となり有田と波佐見を結ぶ路線も現在は運行されていません。両町を結ぶこの乗合タクシーは観光客には貴重な足場だと思います。私も2度、利用しましたが2日とも利用者はまだ残念ながら少なかったです。

試験運行は3月5日までとなっていますが長いスパンで考えて是非、5日以降も継続して運行して欲しいです。

《著者あとがき》

「秘境路線バスをゆく」（イカロス出版）という日本全国の隠れた特徴のある様々なバス路線が掲載されている本が現在、2巻まで出版されています。その中で佐世保市営バスが運行している烏帽子岳線が紹介されています。興味のある方は読んでみてください。



《会員PRのコーナー》

街に出て英会話提唱

日本人の多くが苦手としている英語。佐世保市の英会話教室「English Cafe」は、街に出て英会話（English Cafe）を提唱し、非日常の場や生活の中で英語を学ぶ機会を増やしています。英会話教室「English Cafe」は、街に出て英会話（English Cafe）を提唱し、非日常の場や生活の中で英語を学ぶ機会を増やしています。

なつかしき 佐世保市出身。佐世保西高、鹿児島大文学部卒業。テレビ佐世保の司会者を経て、カナダへ1年間留学し、小学生的な英語指導者の資格認定を得る。帰国後、出版社の英会話事業部に勤務し、2012年、佐世保市に「EAC」を設立した。趣味はサッカー。米海軍佐世保基地の隊員の嫁さんで、ゲームに没頭し、市内のコミュニティパークで週に行われる試合に参加して汗を流している。

英会話講師 中尾李沙さん 30

「英会話教室に通うよりも、街に出て英会話を学ぼう」というのが私の提唱です。英語は生活の中で学べると信じています。私も、街に出て英会話を学ぼうと、自分自身も英語を学ぶ機会を増やしています。英語は生活の中で学べると信じています。私も、街に出て英会話を学ぼうと、自分自身も英語を学ぶ機会を増やしています。

英語で交わるまちSASEBO推進フォーラム
～英語で広がる私たちのミライ～

英語 × させぼ

2017年 3月25日(土)

入場無料 定員300名

【時間】15:00～17:00 (14:00開場)
【会場】佐世保市民文化ホール (佐世保市佐世保町守野1-1-1)
【主催】佐世保市 佐世保市教育委員会
【共催】「英語で交わるまちSASEBO」推進チーム

15:00 オープニングアクト
15:10 佐世保の「いいね」発信
15:30 基調講演 「世界に広がる私の可能性 (仮題)」
16:00 パネルディスカッション 「英語で広がる私たちのミライ」
16:55

講師 宮本エリアナ氏
アメリカ人の父と日本人の母の間に生まれる。中学からアメリカに留学し、高校卒業後アメリカに渡り、2015年ミス・ユニバース日本代表として世界に活躍。現在は、ミス・ユニバース・ジャパンのメンバーとして、グローバルな視点から、社会貢献活動に取り組んでいる。

講師 山崎一彦氏 (佐世保市立大学経済学教授)
講師 中尾李沙氏 (English Academy Clubhouse 代表)
講師 朝長明男氏 (佐世保市長)
コーディネーター 榎原 貴氏 (佐世保市教育委員会)

フォーラムの参加には事前申し込みが必要です。申込方法は裏面をご覧ください。

申し込み・お問合せ先 佐世保市教育委員会 社会教育課 TEL 0956-24-1111 FAX 0956-25-9682 3/20 締切